



子ども大学学生新聞

第9号
子ども大学
かわごえ新聞部

ゾンビと人間はどう違う?

渋谷哲也先生がホラー映画を使い授業

十月十九日土曜日、東京国際大学第一キャンパス314号室で、東京国際大学の渋谷哲也教授による「怪物、ゾンビ、ロボットと人間はどう違う?」という授業がありました。一時間目は、人とは何か、フランケンシュタインとは何者かなどを、映画を使いながら教えてくださいました。



まず初めに、人、ロボット、ゾンビは何か考えました。ロボットは人工で、人間みたいに子孫を残すことはできません。

人。人間とすごく似ているクローン人間も人工で、心がありません。ゾンビは一度死んで生き返り、肉体だけになったものです。それに、心はなく、食欲だけで生きています。

次に、フランケンシュタインについて教えてくださいました。フランケンシュタインは、人の名前で、フランケンシュタインと呼ばれている怪物に、もともと名前はありません。また、フランケンシュタインは人造人間で、身長は二メートル以上ある怪物です。

渋谷先生は、一時間目の最後のほうで、産まれたばかりの怪物は、好奇心旺盛な子どもだと言っていました。

心を持ったロボット

一時間目は一時間目の最後に見た「Zombi」のことについて考えました。なぜゾンビは人を食べるのかという課題でした。

ゾンビは、人が死んでしまったあとに、体と新鮮なお肉を食べるといふ本能だ

けをもった怪物です。たとえ元々家族だったとしても、全く分からずに人間を食べてしまいます。

ゾンビに食べられてしまった人は、二日以内に死んでしまいます。死んでしまった人も、ゾンビになって、また人を食べようとします。それを防ぐには、ゾンビを銃で打ち殺さなければなりません。

ここで先生から質問が出ました。あなただったら、そのゾンビを殺しますか? 次に映画「A. I.」を見ました。この映画は、心をもった男の子のロボットとその家族がどう生きていくかを考える物語です。

物語の最後で、ロボットを全て撤去するというシーンがありました。このとき心を持った男の子ロボットだけは撤去しませんでした。理由は人間にそっくりで人間と見たからです。この時点で皆さんはまだまされました。とても面白い授業でした。(長坂星名記者 高階北小6年)

渋谷先生にインタビュー

Q 今日のはなぜゾンビや怪物の話しようと思ったのですか。

A ためになることが多いからです。

Q 怪物、ゾンビ、ロボットの研究を始めたのはいつからですか。

A 十年前くらいからです。

Q ほかに調べたいことはありますか。

A いろいろあります。宮崎駿さんのジブリを知りたいです。

Q 子どものころ興味があったものは何ですか。

A テレビがマイブームで推理小説が好きでした。

Q 幽霊やお化けを信じますか。

A 信じます。

Q ホラー映画は昔から好きだったのですか。

A 大好きでした!!

学生の感想

◇河野友里さん 寺尾小4年「映画は少しわかったけど、面白かったです」

◇いなみねまほさん 霞ヶ関北小6年「今日の授業の感想は?」

A ロボットと人間はいつしよにくらせるのではないかと思いました。

Q どうしてですか?

A いろんなことを教えればロボットは出来るのではないかと思えます。

(大和日菜記者 星野学園小4年)

佃 鷹翔君 名細小6年 「A. I.」という映画の主人公がすぐわれるところがおもしろかった」

(浅野璃子記者 杉下小5年)

◇渡邊琉央君 鶴ヶ島栄小4年「もし本当にゾンビが出たら、こわいなと思いました」

福岡 確君 新宿小6年「かいぶつとロボットに、いがいなせってんがあることを、はじめて知りました」

(土田莉子記者 山田小4年)

記者の感想

◇土田莉子記者「わたしは、しょうらい大きくなって、心をもったロボットがきたら、友だちになりたいです」

◇大和日菜記者「ゾンビって、ただこわいだけだと思っていたけれど、いろいろちがいをみつけられて、面白かったです」

新聞部がアンケート

受けたい授業「宇宙のなぞ」

将来はスポーツ選手がトップ

新聞部は十月十九日の授業日に学生にアンケート調査を行いました。八五人が回答してくれました。質問は、①いま何に関心がありますか、将来の夢は何ですか、今後どんな授業を受けてみたいですかの三つ。この結果は来年度の子ども大学の授業を計画するときの参考にしております。調査結果は、つぎの通りです。

「今年」八五票

いま関心があること ①音楽、②読書
③漫画、④宇宙、⑤歴史、⑥東京デイズ
ニールゾート

将来の夢 ①スポーツ選手、②医療関係、③専門研究員、④先生、⑤芸能人、⑥東京デイズニールゾート関係、⑦料理関係

受けたい授業 ①宇宙の謎(なぞ)について、②芸能人の特別授業、③歴史のことについて深く学ぶ授業、④東京デイズニールゾートのキャストが贈るHappinessな授業、⑤今の日本を考える授業

学年別 4年生三七票、5年生二六票、6年生二票
いま関心があること ①▽4年生①科学4、①音楽関係4、③テレビ2、▽5

年生①乗り物2、①インターネット2、テレビ2、①生物2、6年生 本
3、①宇宙3、②歴史2、②天気2、
②動物2、②オシャレ2、②音楽関係
2

将来の夢 ①▽4年生①スポーツ選手
手6、②研究員4、③先生2、③フ
ッションデザイナー2、③医療関係2、
▽5年生①作家3、①スポーツ選手3、
②タレント2、②パティシエ2、②学
者2、②医療関係2、▽6年生①先生
5、②東京デイズニールゾートキャ
スト3、②医療関係3、②スポーツ選手3

受けたい授業 ①▽4年生①音楽関係
2、①宇宙関係2、①乗り物関係2、▽
5年生①日本の今3、②宇宙関係2、②
歴史2、②スポーツ2、▽6年生①芸能
人3、②宇宙3、②デイズニールゾ
ートのキャスト2、②音楽2、②動物2
アンケートへのご協力をありがとう
ございました。
(編集長・長坂星名 高階北小6年)

「子ども動物自然公園」で 「やむねんら」とふれあう

十一月九日(土)に当初の予定だった
四年生対象の「タッチラグビー教室」が
グラウンドの都合でできなくなったの
で、かわりに東松山市の埼玉県「も動
物自然公園」で「自然教室」を実地しまし

た。参加者は、学生六人とスタッフ三人
の計九人でした。

東武東上線川越駅前に午前八時に集
合し、電車で高坂駅へ。開園と同時に入
場し、午前中は動物園の散策(シマウ
マ・キリン・コアラ等の見学)、フィ
ールドアスレチック、乳牛の乳しぼり体験
をしました。

午後は、なかよしコーナーで、ヒヨ
コ・ウサギ・モルモット・ヘビ・やぎ・
ミニブタ等とふれあい、森の教室「森の
素材で作ってみよう!動物園のいきも
のたち!」で、ドングリや松ぼっくりを
使って動物の子どもをつくりました。
子ども大学かわごえ事務局・松本ゆた
か

☆アスレチック感想

安藤 昭乃さん 「縄で登るところが楽
しかった」

品川 遥紀くん 「くだもので遊ぶゲー
ムが楽しかった」

木の工作感想
深澤 朝信くん 「木で動物の足を作る
のに、うまく立たなくて、長さを同じに
するのが難しかったけど、しっぽは簡単
だった」

工作の北原彩夏先生にインタビュー

Q 教えずらいことは何ですか?

A 道具の使い方です。

Q この作業で一番大変なことは何で
すか?

A ノコギリで木を切る仕事です。

Q 木などはどこから持ってきている
のですか?

A 通っている大学の木を持ってきて
います。

Q このお仕事は誰が思いついたので

すか?
A 大学の先生(彫刻の先生)が思いつ
きました。
(増田夢実記者 名細小4年)

合唱団が誕生

英語と日本語で歌を楽しむ

子ども大学かわごえ合唱団が誕生し
ました。小林範子先生の指導で、英語で
世界の歌を歌います。その第一回の練習
が九月二十八日(土)、川越市新宿町の「あ
けぼのホール」でありました。参加者は
一二人でした。

歌った曲目は「森のくまさん」「ロン
ドン橋」「二〇人のインデアン」など
でした。また、先生が作られた「虹の玻璃」
(こじのちきゅう)「The earth can be
beautiful again」も歌いました。

合唱は日本語ではなく英語で歌うも
ので、難しいところもありますが、大変
楽しい内容です。英語の歌は、あまり歌
うことがないので難しいですが、先生が
分かりやすく見本を聞かせてくださる
ので、とても楽しくできました。

英語と日本語の両方で同じ曲を歌う
ので、家で歌詞の違いや、訳なども勉強
すれば、参加者にとって、とても勉強に
なります。

子ども大学の校歌を英語で歌えるよ
うになるかもしれません。

☆小林先生にインタビュー

Q この合唱団を始めたわけは?

A 歌を歌うことによって、楽しみなが
ら英語の勉強ができるからです。

(堤彩夏記者 大塚小6年)